国土交通省

記者発表資料

平成２８年４月１日

国土交通省
東北地方整備局　福島河川国道事務所　郡山国道事務所
磐城国道事務所　三春ダム管理所
摺上川ダム管理所　小名浜港湾事務所
北陸地方整備局　阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係 平成２８年度事業概要について

福島県内において国土交通省の実施する事業に関する
平成２８年度の事業概要についてお知らせします。

〈予算のポイント〉

「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」、「東北を元気に」の３分野に重点的に取り組みます。

○ 復興・創生期間における新たな枠組みに基づき、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を推進し、これらを活かした新たな物流網の形成に取り組みます。また、震災の記憶と教訓を後世に伝えるための取り組みを推進します。

○ 気候変動等に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害に対し、治水対策を計画的に実施します。また、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」としてハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進します。

○ 道路の防災・震災対策や、代替性の確保のための道路ネットワークの整備を推進します。また、通学路の事故対策など暮らしの安全に資する事業を推進します。

○ 道路、河川、港湾施設の老朽化に対応するため、着実な点検・修繕・更新等の対策を推進します。

○ 東北圏広域地方計画の実現に向け、「コンパクト＋ネットワーク」の形成、日本海・太平洋の２面活用強化、観光支援等を取り組みます。

○ ストック効果や建設現場の物語等を、スマホアプリ、ホームページにより情報発信を行います。また、ＩＣＴ活用により生産性向上を図る「i-Construction」や、技能人材確保・育成を推進します。

〈平成２８年度　福島県内直轄事業当初予算〉　　（単位：百万円）

事業区分		Ｈ２７年度予算	Ｈ２８年度予算
河川関係事業費	国交省計上分	３，６７５	３，４９１
	(参考)復興庁計上分	１００	０
	計	３，７７５	３，４９１
道路関係事業費	国交省計上分	１５，３６５	１４，３０９
	(参考)復興庁計上分	１８，７２１	２６，０８１
	計	３４，０８６	４０，３９０
港湾関係事業費	国交省計上分	０	０
	(参考)復興庁計上分	５，９２０	９，８９９
	計	５，９２０	９，８９９

※本表の他に、災害復旧費(港湾関係)として3,532百万円がある。
※上記金額は、工事関係費(業務取扱費は除く)で記載。
※上記金額は、維持修繕関係事業費を除く金額で記載。

〈発表記者クラブ〉
○福島県政記者クラブ　○福島市政記者クラブ　○郡山記者クラブ
○会津若松市記者クラブ　○いわき記者会　○いわき記者クラブ
○いわき市ふるさと発信課　○南相馬市役所記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

○福島河川国道事務所　TEL 024-546-4331
副所長　横山（よこやま） 真幸（まさゆき）　（内線206）
(河川関係)工務第一課長　畑井（はたい） 言介（げんすけ）　（内線311）
(道路関係)工務第二課長　小山田（おやまだ） 桂夫（かつらお）　（内線411）

○郡山国道事務所　TEL 024-946-0333
副所長　中村（なかむら） 幹男（みきお）　（内線204）

○磐城国道事務所　TEL 0246-23-2211
副所長　佐藤（さとう） 実（みのる）　（内線205）

○三春ダム管理所　TEL 0247-62-3145
所長　芦萱（あしかや） 昌弘（まさひろ）　（内線201）

○摺上川ダム管理所　TEL 024-596-1275
所長　森（もり） 禎一（ていいち）　（内線201）

○小名浜港湾事務所　TEL 0246-53-7100
副所長　下澤（しもざわ） 治（おさむ）　（内線302）
企画調整課長　小野寺（おのでら） 美昭（よしあき）　（内線331）

◎国土交通省 北陸地方整備局

○阿賀川河川事務所　TEL 0242-26-6441
副所長　見田（みた） 弘幸（ひろゆき）　（内線204）

【平成28年度　福島県内　主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	H28事業内容	頁
●新規事業箇所					
河川（砂防）	直轄	阿武隈川水系直轄砂防事業（前川第1砂防堰堤）	米沢市、福島市	砂防堰堤工	P5
河川	直轄	阿武隈川上流河川改修事業（御代田地区）	郡山市	用地取得	P6
道路	直轄	県道吉間田滝根線　広瀬改良　★	いわき市 田村市	調査設計、道路改良工事	P7
道路	直轄	国道6号　福島6号交差点改良等（福田地区歩道整備）	相馬郡 新地町	調査設計	
道路	直轄	国道49号　福島49号交差点改良等（榎木壇地区事故対策）	会津若松市	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝（入江町地区）	福島市	調査設計、支障物移設	
道路	直轄	町道沼尾線　沼尾シェッド修繕代行事業	南会津郡 下郷町	調査設計、修繕工事	P8
道路	補助	国道121号　若松北バイパス	会津若松市	調査設計	
●完成・開通予定事業					
道路	直轄	東北中央自動車道　福島～米沢	福島市	部分2車線開通（福島JCT～福島大笹生IC）調査設計、改良・橋梁・トンネル・舗装工事	P15
道路	直轄	国道6号　久ノ浜バイパス	いわき市	全線2車線開通改良・舗装工事	
道路	直轄	国道49号　平バイパス	いわき市	全線4車線開通舗装・トンネル工事	P9
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（阿武隈東道路）　★	相馬市	全線2車線開通舗装・トンネル工事	P10
道路	直轄	国道49号　福島49号電線共同溝（亀田地区）	郡山市	調査設計、支障物移設、本体工事、路面復旧	
道路	直轄	町道宮下・名入線　三島大橋修繕代行	大沼郡三島町	修繕工事	P11
●主要継続事業					
河川	直轄	阿武隈川上流　河川改修事業 （本宮左岸地区）（浜尾遊水地地区）	本宮市、須賀川市	樋門、橋梁架替、用地取得 遊水地内掘削	P12,13
河川	直轄	阿武隈川上流　本宮地区かわまちづくり	本宮市	管理用階段等	P12
河川（砂防）	直轄	阿武隈川水系直轄砂防事業（塩の川第7砂防堰堤）	福島市	砂防堰堤工	P13
河川	直轄	阿賀川下流狭窄部改修（長井地区）	喜多方市	河道掘削 法面対策	P14
河川	直轄	阿賀川河川改修事業（宮古地区）	会津坂下町	築堤	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

事業区分		事業名	市町村名	H28事業内容	頁
●主要継続事業					
河川	直轄	阿賀川河川改修事業(青津地区浸透対策)	会津坂下町	浸透対策工	
道路	直轄	国道121号　湯野上バイパス	南会津郡 下郷町	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道4号　鏡石拡幅	岩瀬郡 鏡石町	調査設計、用地補償、舗装工事	P16
道路	直轄	国道4号　伊達拡幅	伊達市～ 伊達郡国見町	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道13号　福島西道路(Ⅱ期)	福島市	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道6号　常磐バイパス	いわき市	調査設計、用地補償、橋梁工事	
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路(相馬～相馬西) ★	相馬市	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	P16
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路(阿武隈東～阿武隈) ★	相馬市 ～伊達市	調査設計、改良・橋梁・舗装工事	
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路(霊山道路) ★	伊達市	調査設計、改良・橋梁・トンネル・舗装工事	P17
道路	直轄	国道399号　十文字改良 ★	いわき市	調査設計、改良・トンネル工事	
道路	直轄	国道13号　福島13号交差点改良等 (大町地下横断歩道整備事業)	福島市	用地補償、改良工事	P17
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝(松浪町地区)	福島市	支障物移設、本体工事	P18
道路	補助	国道121号　下郷田島バイパス	南会津郡下郷町 ～南会津町	調査設計	P18
港湾	直轄 補助	相馬港　3号ふ頭地区 国際物流ターミナル(耐震)整備事業 ★	相馬市 新地町	直轄:上部工、消波工	
港湾	直轄	小名浜港　東港地区 国際物流ターミナル整備事業 ★	いわき市	岸壁本体工、浚渫工	P19

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

阿武隈川水系直轄砂防事業　前川第1砂防堰堤

H28：842百万円※

完成予定：H30年代

新　規	山形県米沢市、福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・荒廃が著しい前川において、下流への土砂流出による被害を防止するため砂防堰堤を整備します。





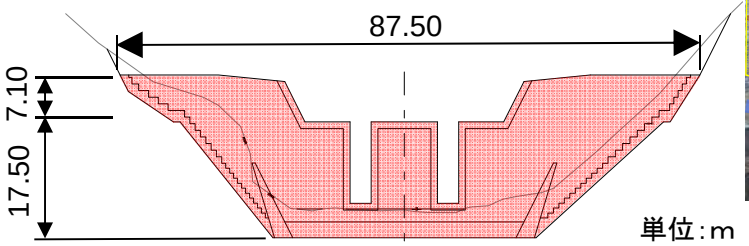
前川第1砂防堰堤位置図



【整備効果】
・前川第1砂防堰堤を含む今後概ね30年間の砂防施設50基の整備により、土砂氾濫面積約1,400haを減少させ、家屋被害を約5,900戸減少させます。



前川上流域の荒廃状況



単位：m

砂防堰堤正面図

福島市街地 斜め写真



【平成28年度の事業内容】
・砂防堰堤整備のための用地調査、環境調査を行います。

阿武隈川上流　河川改修事業(御代田地区)

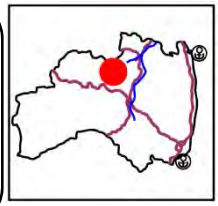
H28：1,869百万円※

完成予定：H32

新規	福島県郡山市	河川	直轄

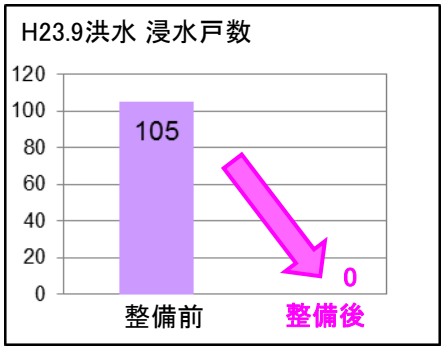
※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・平成23年9月洪水において、家屋浸水被害を受けた郡山市御代田地区の堤防未整備区間において、河川改修事業を実施し、治水安全度の向上を図ります。

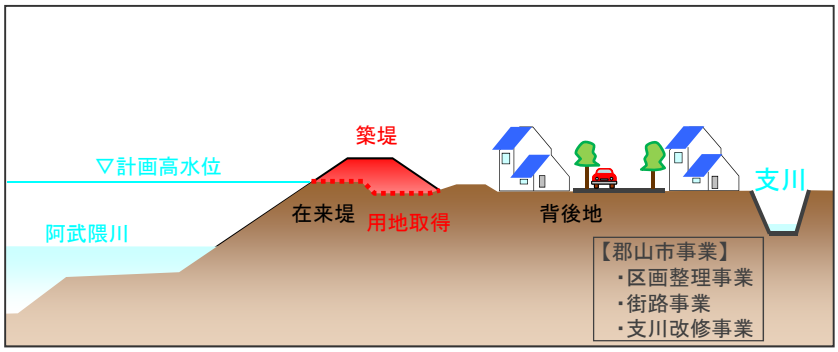




【整備効果】
・「築堤、樋門」を整備することにより、当該地区の浸水被害（105戸）を解消します。
・背後地で整備されている郡山市の「区画整理事業・街路事業・支川改修事業」と連携し「河川改修事業」を進め、治水安全度の向上を図ります。



▲ 整備効果（浸水戸数）



▲ 河川改修（堤防整備）のイメージ（右岸）

【平成28年度の事業内容】
・事業用地の取得を行います。

県道吉間田滝根線　広瀬改良

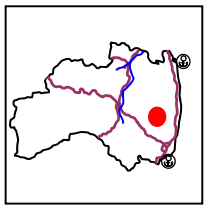
H28：300百万円

完成予定：　ー

新規	福島県いわき市～田村市	道路	直轄

【事業の概要】

広瀬改良は、県道吉間田滝根線の特殊通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、トンネルや長大橋の施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。





【整備効果】

○特殊通行規制区間や防災危険箇所、線形不良及び幅員狭小などの未改良区間の回避により、住民生活等における安心・安全な交通が確保されます。

○東日本大震災に伴う原子力災害からの、避難解除等区域の復興・再生を支援します。
（避難指示解除準備区域の解除が進む川内村の帰村を支援します。）



▲幅員狭小状況



▲小野町市街地部の交通状況

【平成28年度の事業内容】

・調査設計・改良工事等を実施します。

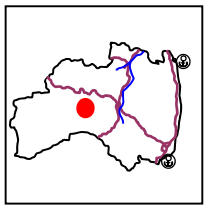
町道沼尾線（ぬまお）　沼尾（ぬまお）シェッド修繕代行事業

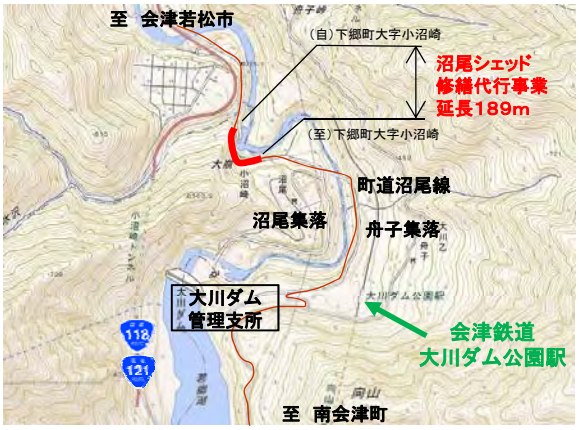
H28：240百万円	
完成予定：　ー	

新規	福島県南会津郡下郷町（みなみあいづ　しもごうまち）	道路	直轄

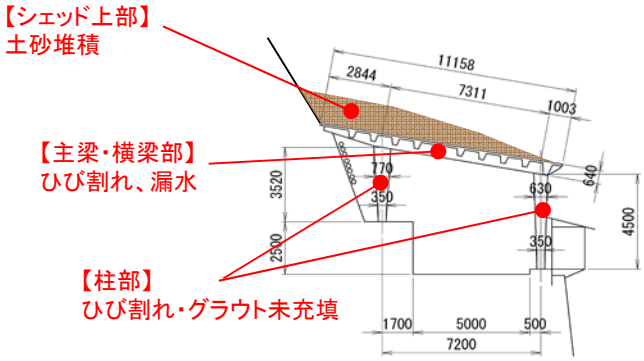
【事業の概要】

沼尾シェッドは下郷町が管理する町道沼尾線に設置されているシェッドであり、シェッド上部に設計値を超える土砂の堆積が見られる状況の中、主梁・横梁・支柱部等のひびわれ、漏水、グラウト未充填などの損傷が直轄診断において確認された。補修には高度な専門知識等を要することから、国による修繕代行事業として保全対策を行うものです。





※シェッドとは：鉄筋コンクリート部材等で道路を覆い、落石・雪崩等から道路交通や施設を防護する構造物



▲シェッド標準断面図

【整備効果】

〇保全対策の実施により、施設の健全度の確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。







▲沼尾シェッド　全景



▲グラウト未充填状況



▲損傷状況

【平成28年度の事業内容】

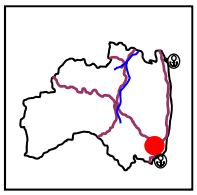
・調査設計・修繕工事等を実施します。

国道49号　平（たいら）バイパス

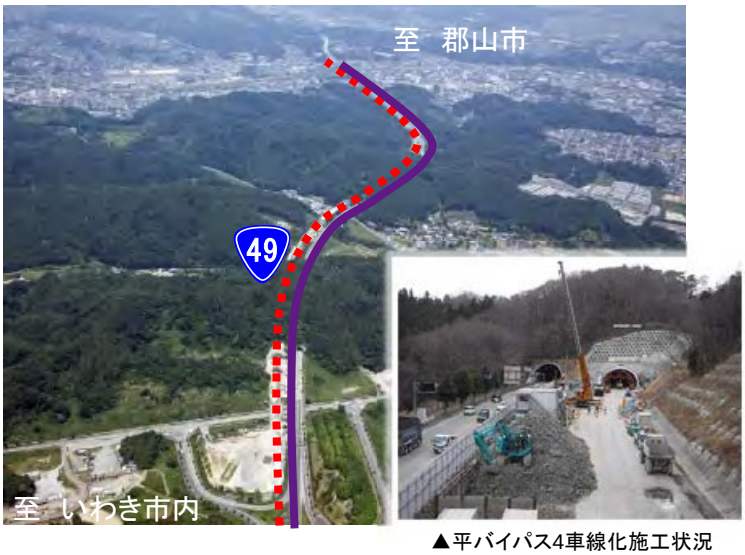
H28：612百万円

開通	福島県いわき市	道路	直轄

【事業の概要】
平バイパスは、常磐（じょうばん）自動車道のいわき中央ICへのアクセス及び国道49号のいわき市中心部の交通混雑の緩和を目的とする道路です。

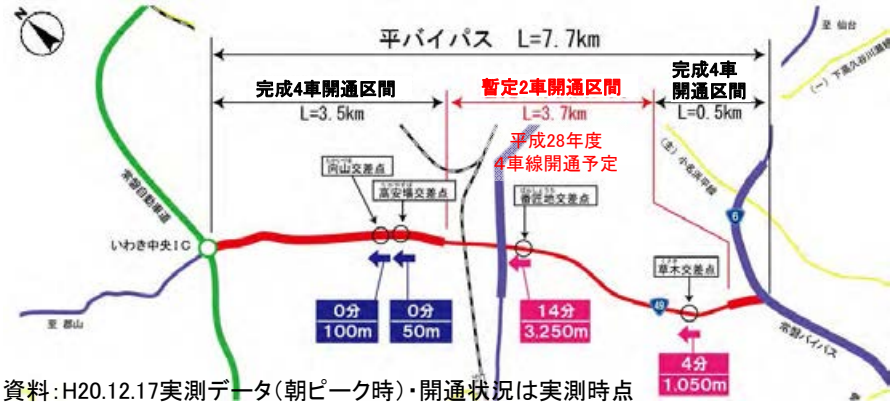






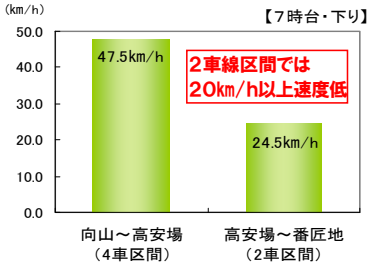
▲平バイパス4車線化施工状況

【整備効果】
○平バイパスの2車線区間では交通容量の不足から渋滞が発生しておりますが、4車線化により、交通容量が確保され、混雑緩和が見込まれます。



資料：H20.12.17実測データ（朝ピーク時）・開通状況は実測時点

▲渋滞長と通過時間



資料：H20.12.17実測データ

▲ピーク時速度の比較



▲内郷御厩町付近の渋滞状況

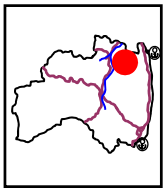
【平成28年度の事業内容】
全線4車線開通に向けて、舗装工事、トンネル工事等を実施します。

国道115号　相馬福島道路（阿武隈東道路）

H28：1,128百万円
（宮城県269百万円、福島県859百万円）

開通	福島県相馬市	道路	直轄

【事業の概要】
相馬福島道路（阿武隈東道路）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







【整備効果】
〇大雨などの災害により国道115号が通行止めとなった場合でも、緊急輸送道路として信頼性の高いネットワークが確保されます。





国道115号では
過去16年で15回の
全面通行止めが発生

【平成28年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、舗装工事、トンネル工事等を実施します。

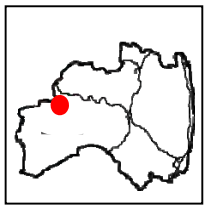
町道宮下・名入線　三島大橋修繕代行事業

H28：200百万円

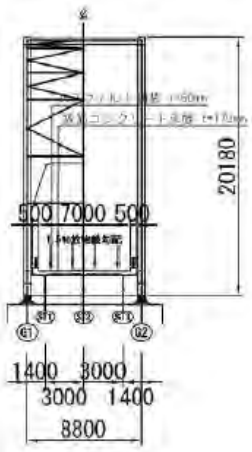
完成	福島県大沼郡三島町	道路	直轄

【事業の概要】

三島大橋は三島町が管理する町道宮下名入線の只見川に架かる橋梁であり、高力ボルトの破断・脱落及び鋼部材の塗装や床版の劣化損傷が進行しているが、補修には高度な専門知識等を要することから、国による修繕代行事業として橋梁保全対策を行うものです。



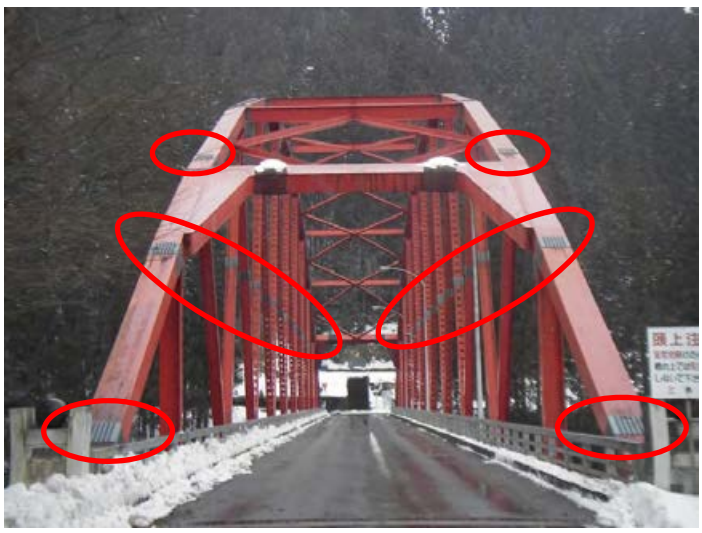




▲標準断面図

【整備効果】

〇橋梁保全対策の実施により、橋梁の健全度の確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。



▲三島大橋 全景



▲ボルト交換前



▲ボルト交換・下塗完了後

【平成28年度の事業内容】

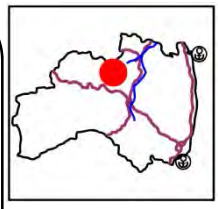
修繕工事等を実施します。

阿武隈川上流 河川改修事業(本宮左岸地区)		H28:1,869百万円※	
		完成予定:H30年代	
継続	福島県本宮市	河川	直轄

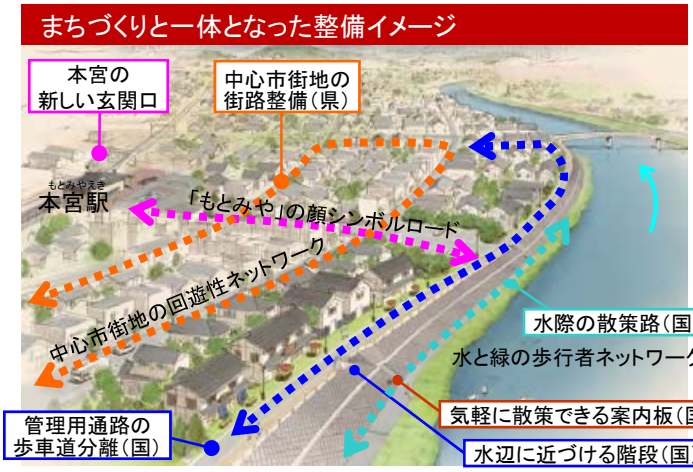
阿武隈川上流 本宮地区かわまちづくり		H28:5百万円	
		完成予定:H36	
継続	福島県本宮市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

【事業の概要】
・本宮左岸地区は、堤防の高さが計画より低く、これまで度々浸水被害を受けてきたことから、河川改修事業により治水安全度の向上を図ります。
・本事業箇所は、住宅や商店が密集する本宮市の中心市街地と隣接しているため、まちづくりと一体となり、かわまちづくりを展開していきます。
・平成28年度は、河川改修で「樋門及び橋梁架替、用地取得」、かわまちづくりでは「まちとかわの連絡路(階段)」を整備します。







▲ 河川改修事業・かわまちづくりイメージ



▲ 一部完成した堤防と階段整備イメージ

阿武隈川上流　河川改修事業（浜尾遊水地）

H28：1,869百万円※
完成予定：H30

継続	福島県須賀川市	河川	直轄

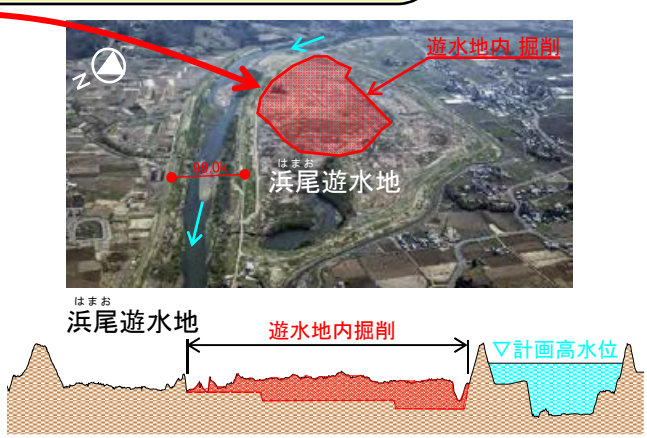
※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
平成23年9月洪水では、資産・家屋が集中する郡山・須賀川市街地区間において、計画高水位を超える出水となり浸水被害が発生したことから、浜尾遊水地の洪水調節容量を拡大（掘削）し、下流市街地部の浸水被害を軽減します。





▲　平成23年9月洪水状況（須賀川市釈迦堂川合流点）



▲　遊水地内 掘削のイメージ

阿武隈川水系直轄砂防事業　塩の川第7砂防堰堤

H28：842百万円※
完成予定：H30

継続	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
塩の川上流吾妻山の火山噴火による土砂災害から、福島市街地、東北自動車等の重要交通網を保全するため、砂防堰堤を整備します。







阿賀川（あがかわ）　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井（ながい）地区））

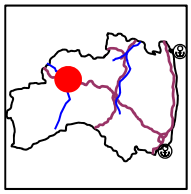
H28:775百万円※

完成予定H30年代

継続	福島県喜多方（きたかた）市	河川	直轄

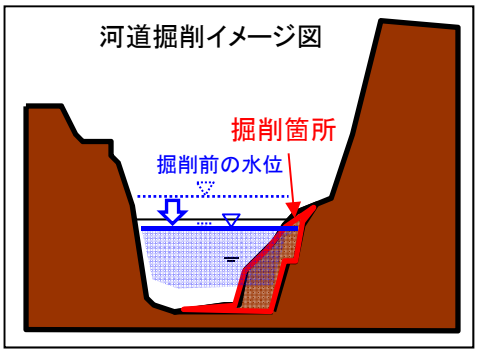
※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。





河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。

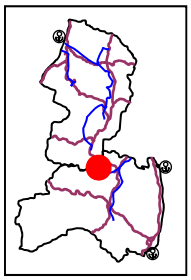


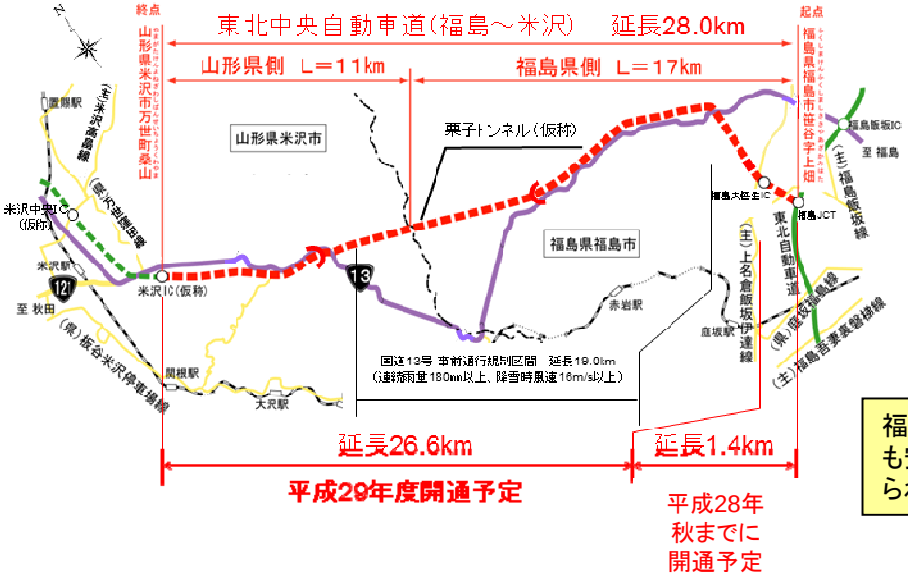
東北中央自動車道　福島（ふくしま）～米沢（よねざわ）

H28：9,320百万円
（福島県6,545百万円、山形県2,775百万円）
開通予定：H28、H29

継続	福島県福島市（ふくしま）～山形県米沢市（よねざわ）	道路	直轄

福島～米沢間は、東北中央自動車道の一部を構成し、広域的な交流・連携の促進及び国道13号の事前通行規制区間や豪雪等による冬期交通障害を回避し、災害時の安定的な道路交通を支える代替性の確保を目的とした高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







福島～米沢間の整備により、災害時においても安定的な道路交通ネットワークの構築が図られます。



▲H28年度に開通予定の福島JCT～福島大笹生IC間の整備状況（H27.9）

国道4号　鏡石拡幅（かがみいし）

H28：570百万円
供用予定：一部H31

継続	福島県岩瀬郡鏡石町（いわせ　かがみいしまち）	道路	直轄

国道4号　鏡石拡幅は鏡石町内の交通混雑の緩和及び沿道環境の改善を目的とした4車線拡幅事業です。







▲国道4号の渋滞状況

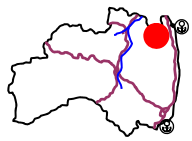
鏡石拡幅の整備により、国道4号の交通混雑緩和が図られます。

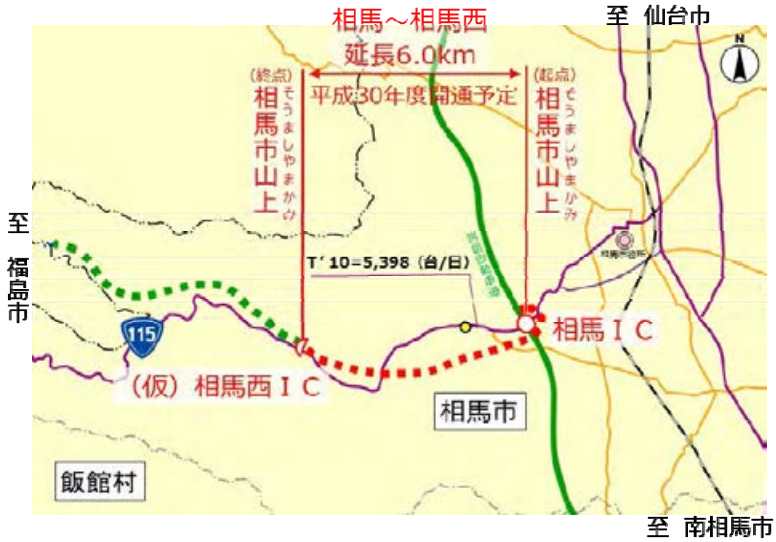
国道115号　相馬福島道路（相馬～相馬西）（そうまふくしまどうろ　そうま　そうま）

H28：7,515百万円
供用予定：H30

継続	福島県相馬市（そうま）	道路	直轄

相馬福島道路（相馬～相馬西）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







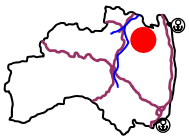
相馬福島道路（相馬～相馬西）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

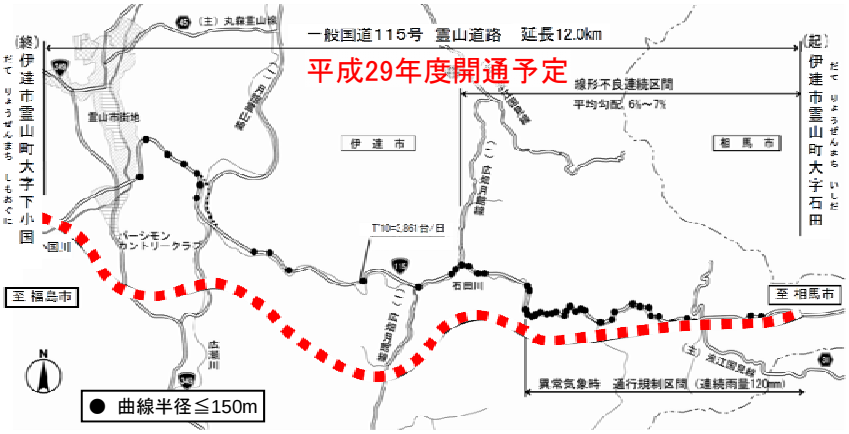
国道115号　相馬福島道路（霊山道路）

H28：6,170百万円
供用予定：H29

継続	福島県伊達市	道路	直轄

相馬福島道路（霊山道路）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲霊山道路　整備状況

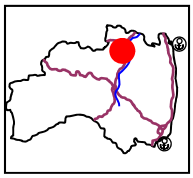
相馬福島道路（相馬～相馬西）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

国道13号　福島13号交差点改良等（大町地下横断歩道整備事業）

H28：198百万円
開通予定：H29

継続	福島県福島市	道路	直轄

大町地下横断歩道整備は、福島市中心部において、地下横断歩道のバリアフリー化を図り、安全・安心な歩行空間の確保を図る事業です。







▲急勾配（勾配50%）な階段

県庁・市役所及び総合病院を訪れる歩行者の利便性が向上します。

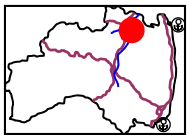
国道4号　福島4号電線共同溝（松浪町地区）

H28：180百万円

開通予定：ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

松浪町地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化を図ることにより、安全で快適な歩行空間を確保並びに震災時における緊急輸送路の確保するとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。







電線共同溝の整備により、都市防災を高め、二次被害を防ぎ、搬送及び避難経路を確保します。

国道121号　下郷田島バイパス

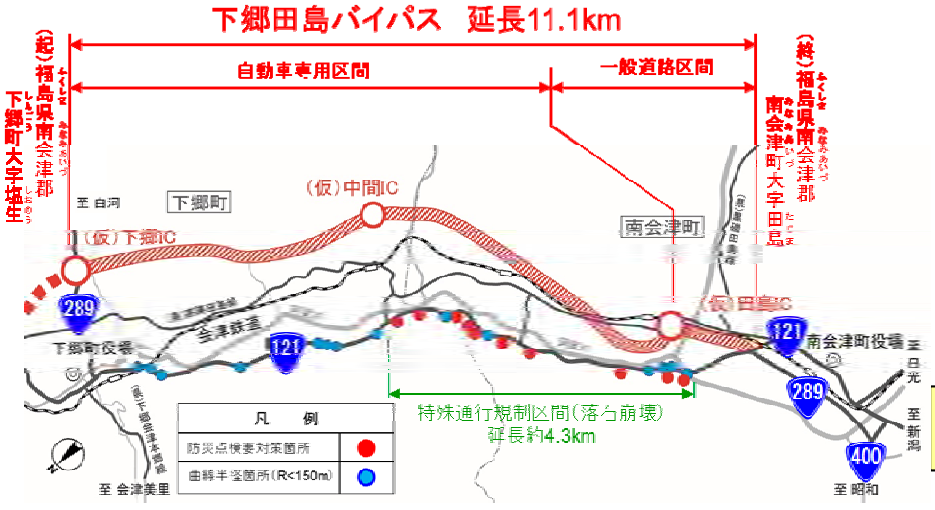
H28：240百万円

開通予定：ー

継続	福島県南会津郡下郷町～南会津町	道路	補助

国道121号下郷田島バイパスは、会津縦貫南道路の一部を構成し、現道の特殊通行規制区間や防災危険箇所、線形不良箇所などを回避し、安全で円滑な交通を確保すると共に、高次救急医療施設へのアクセス性向上を目的とした地域高規格道路です。







下郷田島バイパスの整備により、脆弱な広域連携軸の強化を図ります。

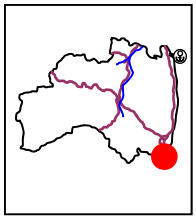
小名浜港（おなはま） 東港地区（ひがしこう） 国際物流ターミナル整備事業

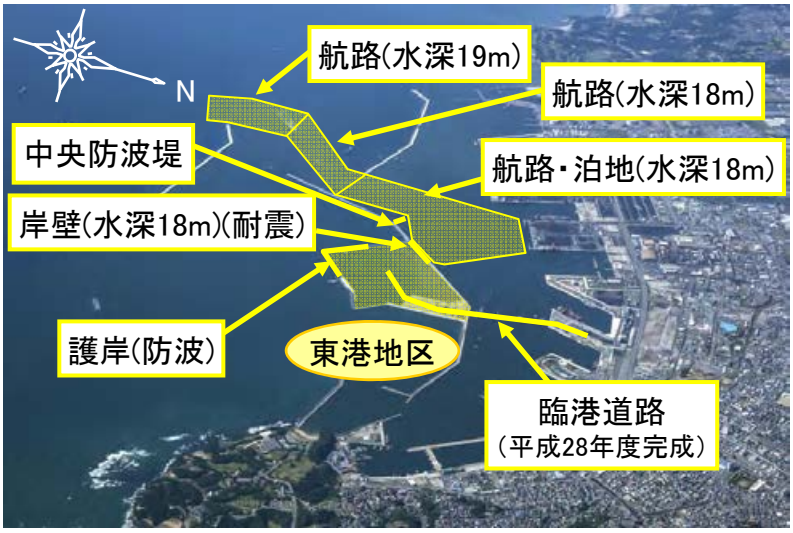
H28：9,418百万円

完成予定：H30

継続	福島県いわき市	港湾	直轄

資源・エネルギー等の広域的、効率的な海上輸送ネットワークの拠点となる大型輸送船に対応した国際物流ターミナルを整備します。また、耐震強化岸壁を整備することにより、災害時にも継続的な物流を確保します。
平成28年度は、臨港道路を完成させます。







▲東港地区の整備状況